

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 12 陣の記録
テーマ：科学技術交流，対象国：タイ

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、2019 年 11 月 25 日～12 月 3 日の 8 泊 9 日間の日程で、タイの高等学校においてサイエンスを専攻し、将来、研究者やエンジニア等を目指す高校生 17 名が訪日しました。本訪日団は、「科学技術」をテーマに、東京都内で最先端技術施設等を視察し、大学では同世代の学生との交流を行いました。新潟県ではエレクトロニクス分野の最先端企業、地元の資料館、ミュージアムの視察を行いました。小千谷市においてホームステイを体験し、日本人や日本の魅力に直接触れる機会を持ちました。プログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて对外発信を行いました。帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】タイ 17 名

【訪問地】東京都，新潟県

2. 日程

11月25日（月） 来日

11月26日（火） 【オリエンテーション】
【講義】「日本とタイの二国間関係と日本の外交姿勢」
元駐タイ大使 小島誠二氏
【大学交流】東京工業大学
【テーマ関連の視察】パナソニックセンター東京

11月27日（水） 【視察】日本科学未来館（先端技術）・株式会社リバネス
【表敬訪問】在京タイ王国大使館

11月28日（木） 【視察】皇居・二重橋
東京都から新潟県へ移動
【テーマ関連の視察】ナミックス株式会社

11月29日（金） 【表敬・意見交換】長岡市
【学校交流】長岡工業高等専門学校

11月30日（土） 【視察】燕市産業資料館・三条鍛冶道場

【ホームステイ】新潟県小千谷市

- 12月1日（日） 【ホームステイ】新潟県小千谷市
 【視察】おぢや震災ミュージアム そなえ館
- 12月2日（月） 【学校交流】長岡技術科学大学
 新潟県から東京都へ移動
 【ワークショップ(報告会準備)】
 【成果報告会】
- 12月3日（火） 離日

3. プログラム記録写真

	
11月26日 【オリエンテーション】	11月26日【講義】 元駐タイ大使 小島誠二氏
	
11月26日【学校交流】 東京工業大学	11月26日【テーマ関連視察】 パナソニックセンター東京



11月27日【テーマ関連視察】
日本科学未来館（先端技術）



11月27日【表敬訪問】
在京タイ王国大使館



11月29日【表敬・意見交換】
長岡市



11月30日【視察】
燕市産業資料館



11月30日【視察】
三条鍛冶道場



11月30日【ホームステイ】
小千谷市

	
12月1日【視察】 おぢや震災ミュージアム そなえ館	12月1日【学校交流】 長岡技術科学大学
	
12月2日【ワークショップ】	12月2日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ タイ 高校生

私は日本という国にとっても感銘を受けました。中でも特に、タイと比べてはるかに先進的である日本の最新の技術と科学について感銘を受け、将来、日本に留学して医学を学ぶことを考えています。この点については、日本で医学を学ぶための国の奨学金や無償の奨学金に関する情報をさらに収集する必要があります。またタイと日本の違いについては、門戸が広い点と新しい物事を受け入れる点です。というのも、個人的には、タイではまだ研究面での門戸が狭い、あるいは新しい考え方が受け入れられないと考えていますが、日本では、こうした点においてより受け入れられているからです。帰国後は、日本の良い点を皆さんに知ってもらうためフェイスブックで発信するつもりです。

◆ タイ 高校生

今回のプログラムの内容にとっても感銘を受けました。というのも、個人ではなかなか体験する機会が難しいことを体験させてもらえたからであり、おかげで視野が広がり新しい世界が開け、科学技術や教育、さらには社会や文化など様々な物事の重要性

について考えるようになりました。また、両国には食文化や謙虚さなど似ている点も見られる一方、教育への力の入れ方、自然災害や高齢化社会の問題への備え、格差問題の解決への取り組みなど多くの面で異なる点もありました。

◆ タイ 高校生

今回の日本訪問を通し、あらゆる面における「日本らしさ」に驚きと感銘という二つの感情が生まれました。勤勉さや規律正しさ、細部へのこだわり、愛国心、さらには効率的な中央および地方の行政システムといった、この国の繁栄の礎となった要因をうかがい知ることができました。タイと日本には、食事や礼儀作法など、特に文化の面で多くの共通点があり、そのため日本人の生活・暮らしをすんなり理解することができました。これらの私の想いや考えについては、帰国後その詳細を発信していくつもりです。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 在東京タイ王国大使館

タイ人の留学生は卒業後日本でしばらく働き、その後タイに戻って国に貢献する学生が数多くおり、大使館も留学生協会に対して様々な支援を行っています。また、他にも多くの科学技術の専門家が必要とされています。

6. 参加者の対外発信

 2019年11月29日 · 🌏 Day 2 We went to Miraikan - The national museum of emerging Science and Innovation, Leave a Nest company, Royal Thai embassy and Asakusa. The most interesting place for me is Leave a Nest company. Leave a Nest -- Researchers & Company & Business --... もっと見る いいね! コメント	 2019年11月30日 · 🌏 Day 6 in Japan 🇯🇵 ~ วันนี้ไปเมือง Tsubame เพื่อเยี่ยมชมพิพิธภัณฑ์สิรินธร ได้ไปลองทำเปลี่ยนสีช้อนโดยใช้ไฟฟ้าเหนี่ยวนำ จากนั้นก็ไปเมือง Oga ไปดูงานด้านเหล็ก ก็ได้ลองทำผลิตภัณฑ์ต่างๆ ตั้งแต่การตีเหล็กเลยทีเดียว ใช้แรงเยอะมากๆ ละก็ผ่านหลายขั้นตอนมากกว่าจะได้ผลิตภัณฑ์สำเร็จมาเล่มหนึ่ง จากนั้นก็มาเมือง Ojiya มาพักกับโฮสหนึ่งคืน ตอนแรกก็จะมีงาน Welcome Party ตอนรับพวกเราซึ่งอาหารอร่อยมากๆ จากนั้นก็จะมีการแสดงจากพวกเราและจากชาวบ้านในเมือง Ojiya จากนั้นก็แยกย้ายไปยังบ้านต่างๆ ก็ชวนโฮสคุยกันจนดึกเลยทีเดียวเชียว 55555 วันนี้เป็นวันที่ชอบมากๆ วันหนึ่งเลย ❤️ #JENESYS2019ASEAN #JAD1125 翻訳を見る いいね! コメント シェアする
【視察】日本科学未来館についての発信	【視察】燕市産業資料館，三条鍛冶道場についての発信

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

アクション・プランの発表 1 時期：帰国後 3～6 か月 場所：マヒドン・ウィタヤヌソーン・スクール 活動：今回の出来事や経験についての記事を書いて紹介したり，動画を作成して SNS 上で発信したりする。また，これらの内容について色々な人たちに話し伝える。	アクション・プランの発表 2 時期：帰国後 3～6 か月 場所：学校，国の研究機関，SNS 活動： ・文化，科学，教育および今回の経験に関する記事を書き，雑誌や SNS など様々な媒体を通して発信する。 ・動画（VLOG）を作成して今回の経験や思いを伝える。 ・ポスターを作成して広く伝える。
--	--

事業実施団体：株式会社JTB